



区画整理工事の様子

中村吉男

総社駅南地区土地区画整理事業について

事業を開始してからは20年が経過するが、今後どのような手法で取り組んでいくのか。

財源確保について、どのような手法で施行していくのか。

駅南区画整理事業は本市の都市体系の基盤であり、平成3年からスタートして、

進捗率が85%である。残余の工事高は17億円であるが、途中で止めることは絶対に許されないものであり、全力を尽くす決意である。

社会資本整備総合交付金11億円の事業費で取りかかり、そのうち40%が補助金、残りの60%が起債と単市の持ち出しとなる。財源確保のため、保留地が8億2300万円あり、保留地の処分に本市は全力を挙げていきたい。

(市長)

不育治療の支援について

不育治療支援事業に本市も取り組むべきと考えるがどうか。

「子育て王国そうじゃ」を標榜しており、不育治療支援事業に対しても、この財政的に厳しい折であるので、上限付きということを実施する方向で検討していきたい。

(市長)

難波正吾

文化行政について

国民文化祭の評価、予算、決算はどうであったか。また、今後の文化行政にどう生かしていくのか。

歴史シンポジウム、民話の祭典、和太鼓の競演、日本画の4事業を行い、出演者、応募者は66団体、967人、来場者数は約1万人であった。いずれも本市にふさわしい催

「管球取替え等の維持

中国電力の「防犯灯の球取替えの協力」廃止について

チームをつくり、総社文化の全国発信に努める。(市長)

しであった。予算は県2800万円、市1100万円。残高は537万円強であり、かなり節約してもらった。特に民話部会の協力には感謝している。今後は、出演者、文化関係者を中心にプロジェクトチームをつくり、総社文化の全国発信に努める。(市長)

助成策を検討する。(市長)

「協力廃止」の通達があり、中国市長会は反対の決議を行い、要望書を提出している。

中国5県全市に対し「協力廃止」の通達があり、中国市長会は反対の決議を行い、要望書を提出している。



国民文化祭 民話の祭典

秋山律郎

市長の政治姿勢について

市長の政治哲学・政治理念は何か。また、何年先を見据えた市政運営を行っているのか。

政治は社会的弱者のためにあると思う。また、自立する総社市という表現で発信しているが、市民全体が一つの目標、理想に向かってがんばっていきける総社市を理想とし

現在の状況をどのように認識しているのか。また、この危機を乗り越えるため、どのような方策を講じるのか。

非常に厳しいと強く認識している。県下15市の中で最も硬直化していることを深く認識して、これからの財政運

営を考える。新たな必要経費を生まないということを肝に銘じてやっていく。(市長)

市道橋の整備について

幹線市道の未改築橋りょうの改築計画はどのように考えているのか。

平成25年度末までに調査を完了させ、財政面を考えながら順次改築を手掛けたい。

(市長)

津神謙太郎

子育て支援について

国が検討している放課後児童クラブの義務化について、本市として今後施設の増設や予算の確保をどうするのか。また、子育て支援の基金設立をしてはどうか。

それぞれの運営体と相談しながら増設すべきはしているが、どれだけの投資が必要なのかを協議したうえで検討し

「子育て王国そうじゃ」の全体的な基金は一考に値すると考えている。(市長)

総合計画について

歴史的景観の保全と修景整備を今後どうするのか。吉備路風土記の丘及び緑山古墳群の景観の保全はできているか。

雪舟生誕地公園を早期に整備すべきと考えるがどうか。倒木の撤去等、景観の



雪舟生誕碑

維持に努め、緑山古墳群については、県指定文化財にしてもらい保全・整備をしていきたい。(教育次長)

この事業については、現在の財政状況を考えると進めることができない。(市長)



雪舟生誕地公園予定地